

令和6年2月10日発行

CONTENTS No.80

議会をPick-Up!	2P
議案の審議結果	2-3P
一般質問	4-9P
新年度予算要望	10P
政務活動費による活動	11P
議会だより表紙写真展	12P

Snow Heart

(写真：十日町高校写真部)

● 議会をPick-Up!

12月定例会

令和5年第4回定例会
会期 12月1日～11日（11日間）

12月の定例会は、市長提出議案40件、請願2件、議会提出議案1件を審議しました。

Pick-Up 01

一般会計補正予算〔第7号〕

（主な事業および内容）

● ふるさと回帰支援事業
令和4年2月開催の「雪国居住空間コンテスト」から生まれた「雪原学舎プロジェクト」の事業化に対し、「クラウドファンディング型ふるさと納税」による寄付額全額を補助金として支援します。



● じん芥（かい）処理費
令和6年7月から新しい規格での指定ごみ袋を販売することに伴い、今年度中に発注等の準備を進めます。

● 雇用対策費

3月に十日町市、津南町、南魚沼市、魚沼市、湯沢町合同で、管内企業での高校生職場体験事業を実施し、管内企業への就職促進、学生へのPR、地元就職の意識醸成を図ります。



● 児童遊園施設運営事業

「公益財団法人ライフスポーツ財団」から、「子ども活動支援金」として100万円の採択を受け、児童センター「めぐらんど」に運動用具を新たに設置します。

● ミオンなかさと施設整備事業
浴室板壁の張替えやサウナ室の内装改修、照明のLED化を行い、施設の長寿命化と省エネ化に取り組みます。

● 市道除排雪経費

今冬の除排雪に向け、除雪機械の修繕や路面凍結防止剤等の確保、除雪体制を整えるため、必要な経費を増額します。



Pick-Up 02

人事議案

任期満了に伴う人事議案が提出され、同意しました。

【人権擁護委員】
山田 千代子 氏



Pick-Up 03

条例の見直し

（主な内容）

● 十日町市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

ごみ処理経費の増加に加え、ごみの発生抑制や資源循環を促進するため、

廃棄物処理手数料の改定を行います。併せて保育・介護・医療施設から出される使用済み紙おむつの受け入れを行い、施設及び市民の負担軽減を図ります。

● 議会をPick-Up!

12月臨時会

令和5年第3回臨時会
会期 12月28日（1日間）

12月の臨時会は、市長提出議案3件を審議しました。

Pick-Up 01

一般会計補正予算〔第9・10号〕

● 灯油購入費等助成事業
物価高騰による影響を受けている生活者を支援するため、県が実施する補助事業を活用して、住民税非課税世帯に対し、1世帯5千円の灯油購入費を助成します。

し、1世帯7万円の給付金を支給します。

● 物価高騰対応就学支援事業

就学援助制度における就学援助費の受給者を対象に、物価高騰による教育費の負担軽減を図るため、対象者1人当たり5千円を支給します。

● 住民税非課税世帯重点支援給付金支給事業

住民税非課税世帯に対

12月定例会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	131 人権擁護委員候補者の推薦（山田千代子〈やまだちよこ〉氏）	—	全員賛成	同意
	132 字の変更	—	全員賛成	原案可決
	133 字の変更	—	全員賛成	原案可決
	134 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更	—	全員賛成	原案可決
	135 十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
	136 十日町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
	137 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決

議案番号等		件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長 提出 議案	138	十日町市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	139	十日町市里創プラン松之山ステージ越後松之山「森の学校」キョロロ条例の一部を改正する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
	140	十日町市博物館条例の一部を改正する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
	141	十日町市体育施設条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	142	指定管理者の指定（十日町市川西総合体育館、十日町市庚塚運動場及び十日町市スポーツパレス川西）	総務文教	全員賛成	原案可決
	143	指定管理者の指定（十日町市職業訓練施設）	産業建設	全員賛成	原案可決
	144	指定管理者の指定（サンクロス十日町）	産業建設	全員賛成	原案可決
	145	指定管理者の指定（仙田体験交流館）	産業建設	全員賛成	原案可決
	146	指定管理者の指定（川西有機センター）	産業建設	全員賛成	原案可決
	147	指定管理者の指定（清田山キャンプ場、重地大池自然観察広場及び十日町市七ツ釜公園）	産業建設	全員賛成	原案可決
	148	指定管理者の指定（越後妻有大厳寺高原キャンプ場、希望館及びばーどがーでん）	産業建設	全員賛成	原案可決
	149	指定管理者の指定（松之山温泉スキー場）	産業建設	全員賛成	原案可決
	150	指定管理者の指定（鷹の湯）	産業建設	全員賛成	原案可決
	151	十日町市建設機械格納庫設置条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	152	指定管理者の指定（十日町市市民交流センター、十日町市市民活動センター及び十日町市まちなかステージ立体駐車場）	産業建設	全員賛成	原案可決
	153	指定管理者の指定（十日町市ほくほく線高架下駐車場）	産業建設	全員賛成	原案可決
	154	十日町市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定	産業建設	賛成多数	原案可決
	155	十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	156	十日町市高齢者憩いの家条例の一部を改正する条例制定	厚生	賛成多数	原案可決
	157	指定管理者の指定（十日町市川西高齢者コミュニティセンター）	厚生	全員賛成	原案可決
	158	指定管理者の指定（松代ゆうあいセンター）	厚生	全員賛成	原案可決
	159	指定管理者の指定（ゆうゆう荘）	厚生	全員賛成	原案可決
	160	令和5年度十日町市一般会計補正予算（第7号）	—	全員賛成	原案可決
	161	令和5年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	162	令和5年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	163	令和5年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	164	令和5年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	165	令和5年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	166	令和5年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	167	令和5年度十日町市水道事業会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	168	令和5年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	169	令和5年度十日町市下水道事業会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	170	令和5年度十日町市一般会計補正予算（第8号）	—	全員賛成	原案可決
請願	3	国に対し「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願	総務文教	賛成少数	不採択
	4	若者も安心できるような物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願	厚生	賛成少数	不採択
議会提出議案	18	議員派遣	—	全員賛成	原案可決

12月臨時会 議決結果

議案番号等		件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長 提出 議案	171	専決処分の承認（令和5年度十日町市一般会計補正予算〔第9号〕）	—	全員賛成	承認
	172	十日町市手数料条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	173	令和5年度十日町市一般会計補正予算（第10号）	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき					しんちよう 伸 暢		令和の風				日本共産党 十日町市議団			しんせい 新 成 会				みつわ			無会派	
				村山達也	富井高志	水落静子	関口立之	山家悠平	高橋俊一	鈴木祐一	吉村重敏	根津年夫	山口康司	星名大輔	大嶋由紀子	遠田延雄	鈴木和雄	滝沢繁	富井春美	福崎哲也	中林寛暁	宮沢幸子	小嶋武夫	嶋村真友子		小林正夫
135	原案可決	19	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	×	○	○	○	○	○	○	×	※
136	原案可決	19	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	×	○	○	○	○	○	○	×	※
139	原案可決	20	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※
140	原案可決	20	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※
154	原案可決	19	3	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※
156	原案可決	19	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	×	○	○	○	○	○	○	×	※
請願3	不採択	4	18	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	－	○	○	×	×	×	×	×	×	○	※
請願4	不採択	4	18	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	－	○	○	×	×	×	×	×	×	○	※

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、11人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ
村山達也	ミニ新幹線化、インフラの維持管理、高齢ドライバー支援	4
星名大輔	ふるさと納税を財源にした米農家支援について	5
鈴木祐一	少子高齢化時代の行政サービスと今後の観光事業について	5
根津年夫	明石の湯をはじめとする公共温浴施設の今後について	6
高橋俊一	義務教育における不登校とヤングケアラーの現状について	6
滝沢 繁	干害の収入減対策と地域計画、雪対策、松涛園の撤退問題	7

質問議員	質問事項	ページ
鈴木和雄	大地の芸術祭の目的である地域振興をどう進めるのか	7
滝沢貞親	「人口減少」対応施策、「市民モニター制度」について	8
富井春美	公共温浴施設の利用料の引き上げ中止と学校給食費の支援	8
山家悠平	十日町市の子育て政策と教育について	9
嶋村真友子	働きやすい十日町市をめざした男女共同参画の推進	9

質問 9月に県から示された「ほくほく線のミニ新幹線化」は、わが地域の発展に結びつくとても大きな夢をいだいたと考えるが、今後の取り組みは、

答弁 ほくほく線のミニ新幹線化構想案が採用されれば、関西方面からの新たな人の流れが生まれ、当市や沿線自治体の観光や産業振興による地域経済の発展につながるなど、多方面で大きな効果をもたらしてくれるものと考え、

当市は県の検討委員会に参画しているため、今後は当市をはじめ、ほくほく線の沿線自治体や北越急行株式会社も参画できるよう、県に対し要請をしていくとともに、引き続き検討状況を注視し、ほくほく線のミニ新幹線化の実現に向け積極的に取り組んでいく所存です。

質問 道路や側溝等インフラの維持管理に民間の力を有効に活用する包括的維持管理業務委託の導入を提案する。

答弁 現在直営で行っている道路の補修作業や点検業務を業者委託することは新たなコストも発生することから、慎重な検討が必要であると考えます。今後は、国、県、他市町村の動向等を注目しながら、先進自治体の事例研究



ミニ新幹線化、インフラの維持管理、高齢ドライバー支援

村山達也 議員



悲しい事故を防ぎたい

を重ねていきたいと思っています。

質問 高齢者の運転操作ミスによる交通事故の報道が目立ち心配だ。高齢者の安全運転への支援をどのように考えるか。未然にミスを防ぐ機器の設置を支援できないか。

答弁 昨年度から関係団体と協力し高齢運転者サポートカー体験会や最新の事故防止技術の紹介などを行って、サポートカーの普及状況や、他自治体における高齢者向けのサポートカー補助金の事業効果などを検証しながら、検討を進めていきたいと思っています。



ふるさと納税を財源にした 米農家支援について

星名大輔 議員



質問 とおかまち応援寄附金の来年度の目標額について伺います。本市では寄附者の多くが返礼品として米を希望しています。とおかまち応援基金を財源に米農家に対し支援策を講じる考えについて伺います。

答弁 今年度の寄附額は、予算額6億円を上回り、8億円程度に到達するのではないかと感じています。こうした状況を見ながら来年度の目標額を適切に定めたいと思います。

とおかまち応援寄附金における米の返礼品割合は、令和4年度実績で寄附総額約4億円の47%になっています。

今夏の高温渇水被害については、他市に先駆け用水確保のための支援、農地の復旧支援、農業者の経営資金支援を行っているところです。また、JA十日町におきましても仮渡金価格の増額改定のほか、規格外米に対し仮渡金設定を初めて行い、農業者の手取り確保に向けご支援をいただいています。

市としては、近年まれに見る干ばつ災害で、収入減に直面している農業者の来年度の作付け意欲の低下を防ぐため、個人農家に対して改定前の1等米仮渡金1万8千円と改定後の2等級以下仮渡金との差額の3分の1を実際



ふるさと納税の返礼品として人気がある魚沼コシヒカリ

の出荷俵数に応じて支援したいと考えています。また、農業法人に対しては、10アール当たり2千円を水田台帳面積に応じて支援したいと考えています。事業費は1億800万円程度を見込み、財源は、とおかまち応援基金及び前年度の繰越金からの充当を考えています。これにより、今年度実施してきた農業支援額、干ばつ災害対策として1500万円、物価高騰対策である肥料の価格差支援1800万円、十日町市農業再生協議会を通じた化学肥料低減定着対策支援500万円、これらを合わせ総額1億4600万円になります。



少子高齢化時代の行政サービス と今後の観光事業について

鈴木祐一 議員



質問 医療や介護のお世話にならない健康で元気な高齢者を増やすための取組方針について伺います。

答弁 当市では平成18年10月にスポーツ健康都市を宣言し、スポーツを通じて体力づくりと健康増進を推進してきました。また、健康と要介護の中間であるフレイル予防こそが健康寿命の延伸につながるものと考えており、出前講座や各種介護予防教室などを通じて、フレイル予防の重要性をお知らせしながら市民の健康増進を図ります。

質問 雪国文化や冬の遊びを伝えることは究極の雪国、十日町市として重要です。現在の物価上昇化でのスキー用具の高騰に対して、子供たちや保護者に対する支援策について伺います。

答弁 小学校のクロスカントリースキー用具は、ほぼ全ての学校で各校の支援組織から援助を受けて用具を用意しています。アルペンスキー用具は個人所有またはレンタル利用です。中学校では、学校で準備している1校を除き、個人所有またはレンタルを利用しています。なお、市では、経済的困難を伴う家庭に対し、就学援助制度により用具の購入費やレンタル代等を給付支援しています。



スキー



フレイル体操



明石の湯をはじめとする公共 温浴施設の今後について

根津 年夫 議員



質問 明石の湯の今後について、①運営方法とサービス内容について②指定管理者の選定状況について③付帯決議四項目（「飲食ができる憩いの場」「高齢者への配慮」「キッズルームの確保」「誘客について」）の実現に向けての取り組みについて伺います。

答弁 ①NPO越後妻有里山協働機構へ業務を委託し、営業時間は午後1時から9時まで、毎週火曜日、水曜日を休館日としています。飲食は、施設内での調理提供方式から、隣接するクロステン内のつまり食堂と連携し、ケータリング、出前方式でスタートしています。②現在、指定管理者の公募を行っています。③飲食ができる憩いの場では、休憩室を自由に利用できるほか、旧仮眠室を多目的室に変更し、予約制の個室として利用できます。高齢者への配慮では、廊下と休憩室の段差対策に固定式の手すりを3か所新設し、キッズルームは既存のスペースをこれまでどおり利用できるほか、子どもの年齢に応じて見守ることができるスペースを休憩室内で設けることも検討しています。誘客



営業を再開した明石の湯

では、サービスとコストのバランスを意識した経営改善を行うとともに、越後妻有里山現代美術館と連動した企画や、市内事業者と連携した物販等による顧客の創造を図ります。

質問 その他の公共温浴施設の今後について、①各温浴施設のPR状況について②各施設の誘客に向けた新たな取り組みについて伺います。

答弁 ①割引券の配布やイベント風呂の開催等独自の取り組みを行っているほか、各施設相互でのPR、誘客を目的とした湯めぐりキャンペーン事業等も継続して行っています。②施設ごとの特色を生かした独自の企画を組み合わせるなど、適切な情報発信による誘客に努めていきます。



義務教育における不登校と ヤングケアラーの現状について

高橋 俊一 議員



質問 全国的に増加したとして公表された不登校児童生徒数だが、当市でも99人と前年度から18人も増加している。①不登校や学校不適應となった児童生徒の要因とその対応、②多くの小中学校で設置されている「校内適応指導教室」での学習や指導はどのように行われ、どれだけの成果があるかを伺う。

答弁 ①②学校内の調査からは不登校の最も大きな要因は、無気力、不安という結果が出ています。市教育委員会としては、不登校児童生徒の社会的な自立を目指し、児童生徒が落ち着いた空間で自分に合ったペースで学習、生活ができるよう、適応指導教室などの環境を整え、ICTの活用も含め、一人一人の特性や能力、興味や関心に合った柔軟な学習を実施しています。また、教育相談センターの相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等専門機関と連携しながら、どの子供にも適切な支援の手が届くように取り組みを進めています。

令和4年度の小中学校の不登校状況

(年間30日以上登校していない児童・生徒)

全 国	小学校	105,112人
	中学校	193,936人
	合 計	299,048人 (前年比21.1%増)
十日町市	小学校	30人
	中学校	69人
	合 計	99人 (前年比22.2%増)
この内 登校時	自教室	38人
	校内適応指導教室他	36人

文部科学省・十日町教育委員会からの内容を抜粋し高橋俊一議員作成

ンケート結果をもとに、ヤングケアラーの疑いがある児童生徒に対し、各学校で個別の聞き取りを行い、実態把握をしています。児童生徒によっては、自ら言い出せないケースやヤングケアラーであるという自覚がないケースもあり、聞き取りにおいてヤングケアラーについて丁寧に伝えるとともに、一人を抱え込まずに誰かに頼つてもよいというメッセージを伝えるなど、きめ細やかな対応に努めています。また、ヤングケアラーとしての支援が必要な児童生徒の家庭については、市の相談窓口と連携し、支援を行っています。



干害の収入減対策と地域計画、 雪対策、松涛園の撤退問題

滝沢 繁 議員



質問 ①干害で農家の収入が減っている。近隣市ではすでに対策が示されている。当市ではどう打ち出すのか。

②地域計画策定が始まり、10年後を見据えた計画作りが求められているが、目的と進め方は。

答弁 ①過去に例のない被害であり、農業者の今後の生産意欲を支えていくため、個人農家へは1等から各等級の仮渡金の差額の3分の1、農業法人へは10アール当たり2千円の支援を考えています。②農業者自身が持続的な地域農業を話し合うことが策定の目的です。当市では7月から10月の間に市内約6千人の農業者へ意向調査を行い、今後話し合いの場を設け、地域の合意形成を図りながら令和7年3月までに全地域の計画を策定する予定です。

質問 ①融雪屋根の燃料費の助成を引き上げるべきと考えるが。②保安要員の成り手不足で業者委託などの話を聞くが、どのような考えか。

答弁 ①融雪屋根を設置する際にも市が補助しています。融雪屋根の燃料費補助額はそれを勘案しているの、理解いただきたいと思います。

②高齢化率が高い集落では、集落内で担い手を確保することが困難になると



干ばつで実がつかないコシヒカリ

答弁 市でも、何とか閉鎖せずに続けることができないか協議をしてきたところ。しかし、松涛園の運営に関するさまざまな理由から、当法人の理事会で閉鎖が決定されたものです。市としても、全ての入居者が安心して生活できる居場所へ移れるように、法人との連絡調整、入所者ご家族からの相談に対応しています。



大地の芸術祭の目的である 地域振興をどう進めるのか

鈴木和雄 議員



質問 芸術祭を通して訪れる大勢の来訪者を地場産業振興・地域振興にどう生かすのか。芸術祭そのものの行政評価が行われてこそ各課の連携の強化が図られるがどうか。

答弁 このことは今一番課題として捉えているところです。今まで産業政策や観光政策に特化した大地の芸術祭の議論が本当に多く、教育委員会や、福祉部門への広がりというのが議論されることがあまりなかったと思っています。芸術祭の効果は、地域経済、地域コミュニティの活性化だけにとどまらず、まつだい棚田バンクを通じた農業振興やFC越後妻有の選手たちが地域に入り高齢者の体力増進のために尽くしている、そうした健康福祉の向上など多方面に広がっています。今後は産業観光部内での分析はもちろん、福祉関係、教育委員会関係、企画政策、そうした部門でも我が事として芸術祭の分析等に関わってもらうよう指導していきます。

質問 今後、芸術祭は文化庁との共催になります。目的である地域振興を堅持して取り組んでいくのか伺う。

答弁 文化庁との共催となれば、文化観光という部分にプレッシャーが大

きくなるのではないかと考えています。我々が本当に頑張らなければならない部分はほかにたくさんありますので、ディレクターと一緒に、あるときは国と闘いながら、そうしたものをしっかりと充実させていく必要があります。それをしなければ芸術祭をさらに進める意味がないと思っていますので、しっかりと私どもの考えを文化庁の皆さんにもお話をすることで、より素晴らしいものにしていくようお願いしていきます。

● 商工費に占める大地の芸術祭推進費

単位：千円

	6 回 展			7 回 展			8 回 展			
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
商 工 費 A	2,547,460	3,371,779	3,693,825	2,699,415	3,255,715	2,723,242	1,966,579	2,732,899	2,694,457	2,199,960
大地の芸術祭推進費B	347,664	501,871	853,734	485,313	649,976	941,365	469,272	687,961	747,915	672,810
B / A	13.6%	14.9%	23.1%	18.0%	20.0%	34.6%	23.9%	25.2%	27.9%	30.6%
上段：商工費計	9,613,064			8,678,372			9,583,895			
中段：推進費計	1,703,269			2,076,654			2,577,958			
下段：割合	17.7%			23.9%			26.9%			

平成25年度から令和4年度十日町市歳入歳出決算書から抜粋し鈴木和雄議員作成



「人口減少」対応施策、「市民モニター制度」について

滝沢 貞親 議員



質問 人口減少を考え、持続可能な社会を目指すには、市内公共施設について縮小や廃止等を行う必要があると考える。そのために必要な①「基本計画」や②「基礎データ」、③市民の意向を受け止める方策などについて伺う。

答弁 ①公共施設等総合管理計画において、統合や廃止の推進方針を示し、市民、地域のご理解を前提に、整理できる施設は順次売却、解体等を進め、再利用できるものは転用や貸付けを行ってききました。今後も広い視野に立つて施設の整理や利活用を検討し、民間活用、借地解消も運動させながら、財務体質の強化に向け、バランスシートのスリム化に取り組んでいく所存です。

②施設の縮小、廃止の検討のため、公共施設のうち、市民の利用頻度の高い体育施設や温泉施設などを含む指定管理施設について、毎年利用者数や収支等のデータを把握していますが、数字だけではなく、その施設の将来性、今後の展望も併せて着目していく必要があると考えます。③透明性の高い行政運営を進める上で、広く市民の意見を聞き、的確に把握する広聴活動は大変重要な活動と考えます。市



広報あきたかた(2023年8月号)から抜粋し
滝沢貞親議員作成

長への便りやふれあいトーク、2年に1度実施している総合計画に関する市民アンケートを活用して、今後も広聴活動の充実に努める所存です。

質問 市民の意向を調査する方法として、「市民モニター制度」が他自治体で採用されている。第3回定例会で当局から指摘のあった、場合によっては「公平性を欠く」課題について、その改善と対処法について伺う。

答弁 ITを利用できない方への対応や対象者の選定方法などにより結果に偏りが出ることが課題です。そのため、導入自治体の運用方法などを整理、分析することが重要と考えます。



公共温浴施設の利用料の引き上げ中止と学校給食費の支援

富井 春美 議員



質問 公共温浴施設の利用料金の引き上げについて①年間券や回数券等の値段はどのように変わるか。②指定管理料を上げて利用料を上げないことはできないか。③福祉の観点から、市民生活応援を第一にした対応はできないか伺います。

答弁 ①改定後の千年の湯の12枚つづりの回数券は8千円、ミオンなかきと、ゆくらの家族券は年間5万5千円、個人会員券は年間3万円、フレンズ会員は年間15万円、鷹の湯の年間券は、中学生以上3万6千円、小学生は1万8千円となります。②必要なサービスの対価は今の物価高で上がっており、その対価を受益者の方に一定程度負担をいただき、将来負担を後世になさるべく残さないよう、ご理解いただきたいと思います。③市民の憩いの場としての機能もあるものと認識していますが、事業継続の観点から費用対効果の視点が不可欠だと思います。施設ごとにお客さまの層や利用状況、経費等の内訳など、さまざまな要素を総合的に勘案し、維持すべき機能などを検討する必要があります。その上で地域資源である温泉、温浴施設の活性化に取り組んでいく所存です。

①改定後の千年の湯の12枚つづりの回数券は8千円、ミオンなかきと、ゆくらの家族券は年間5万5千円、個人会員券は年間3万円、フレンズ会員は年間15万円、鷹の湯の年間券は、中学生以上3万6千円、小学生は1万8千円となります。②必要なサービスの対価は今の物価高で上がっており、その対価を受益者の方に一定程度負担をいただき、将来負担を後世になさるべく残さないよう、ご理解いただきたいと思います。③市民の憩いの場としての機能もあるものと認識していますが、事業継続の観点から費用対効果の視点が不可欠だと思います。施設ごとにお客さまの層や利用状況、経費等の内訳など、さまざまな要素を総合的に勘案し、維持すべき機能などを検討する必要があります。その上で地域資源である温泉、温浴施設の活性化に取り組んでいく所存です。



学校給食の無償化は いつかな？

質問 学校給食について①地方創生臨時交付金の推奨事業メニューの内容は何か。②物価高騰に伴う子育て世代へ、思いきった交付金の充当をすべきではないか。市長の考えを伺います。

答弁 ①推奨事業メニューの中に生活者支援があり、食料品の物価高騰に伴う子育て支援として小中学生の給食に関する保護者の負担を軽減するという事例が示されています。②給食費に関しては子育て支援策の一つの要素としてずっと検討してきたのは事実です。推奨メニューの中にもあるので、じっくり考え今後の方針を決めていきます。



十日町市の子育て政策と教育について

山家 悠平 議員



質問 ①市の施設に設置してあるおもちゃ交換台などの状況について、②めごろんどの利用状況と料金について、③ファミリーサポートセンター事業への支援拡充について、④今後の子育て政策について伺います。

答弁 ①令和5年11月22日現在、市有施設では、おもちゃ交換台設置施設は28、授乳室がある施設は9、トイレにベビーカーチェアがある施設は10です。なお、段十郎う等多くの方が利用する施設には全て設置されています。②令和4年度の利用者は4万1894人、このうち市外利用者は2万1577人です。料金については、課題等を整理した上で今後の在り方、料金体系等検討していくべきと考えます。③子育てのお手伝いをする人の報酬額は、県内では当市を含む15市が700円であり、現在のところ報酬額を改正する予定はありません。④第3期子ども子育て支援事業計画策定に向け、保護者等の意見を取り入れるためアンケート調査を実施しており、今後は国の施策と相乗作用を図りながら、安心して子どもを産み育てられるまちの実現に取り組みます。

質問 ①中学校のあり方検討委員会のこれまでの状況と今後について、②当

市の教育の将来について伺います。

答弁 ①当市の人口の推移を見据え、この先30年後を見た上で10年後の中学校教育がどうあるべきか考え、委員の皆さまから議論を重ねていただいております。十日町市の教育の将来を見据えた実りある提言となるよう期待しているところです。②子どもたちが夢と希望を抱いて、地域の将来を支える人材や全国や世界で活躍できる人材として成長することを願います。こうした未来の担い手を育む場である小・中学校において、よりよい教育活動が実践できるよう努めたいと考えています。



めごろんど



働きやすい十日町市をめざした男女共同参画の推進

嶋村 真友子 議員



質問 ①各審議会や自治会の女性委員比率について②女性が出づらいう理由をどう考えるか③どうすれば女性参加が増えるか具体的な策を検討しているか④地域自治組織等にクオータ制を導入してはどうか。(クオータ制とは、女性の割合が一定になるようにする制度のこと。)

答弁 ①各種審議会や委員会等における女性委員の比率は、平成29年度が22・7％、令和3年度は24・7％、令和4年度が25・2％、令和5年度が26・2％と年々増加しています。②世代により、仕事や家事、子育て等忙しい時間帯があるのではないかと考えています。③委員会等の団体推薦枠に女性の選出をお願いしたり、性別に制限なく選出できる公募委員を増やしたりすることにより、女性から手挙げしてもらえよう取り組みを進めています。④クオータ制度については、地域自治組織の皆さんなどと相談しながら、検討を進めていきたいと考えています。

質問 男性の育児や家事参加が進むように具体的に取り組める情報をホームページに掲載してはどうか。

答弁 国が周知している情報を市のホームページでも見られるような工夫を進めたいと思います。

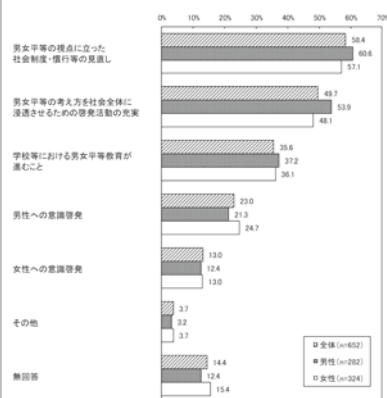
質問 市長が考える女性のU・ターン環境整備とは。

答弁 出産して休んでも、今までと同じようなキャリアパスで行ける安心感のある職場環境となるよう支援をしていく必要があると思います。組織の中で男女の比率が正しいものとなり、あるべき姿に変わっていく、そのようなものが作れないか日々知恵を絞る必要があると思います。

第2章-2 調査結果の詳細

(15) 男女共同参画社会の実現のために市が力を入れるべきこと

問 19 男女共同参画社会の実現のために、市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(時に重要だと思うもの3つまで○)



出典：〔令和4年度実施〕十日町市「男女共同参画に関する市民意識調査」(189ページから抜粋)

所管事務調査（管外視察）を行いました

総務文教常任委員会

■期日

令和5年10月4日～5日

■視察先

①佐賀県武雄市②大分県玖珠町

■視察項目

- ①SAGA武雄温泉スポーツコミッションについて
- ②中学校の再編について

産業建設常任委員会

■期日

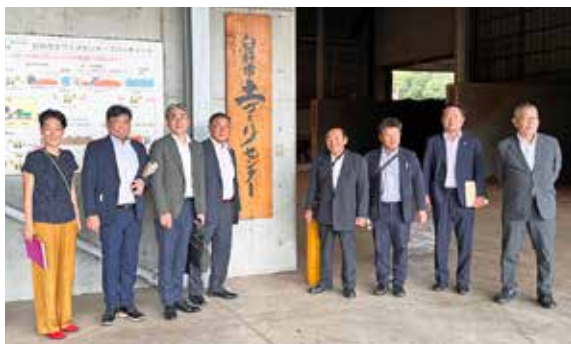
令和5年10月2日～4日

■視察先

①株式会社良品計画②株式会社アートフロントギャラリー（東京都）③大分県臼杵市④福岡県宗像市

■視察項目

- ①十日町市との連携に係るこれまでの取り組みと今後の展開について
- ②大地の芸術祭の今後の展開について
- ③有機農業の取り組みについて
- ④「道の駅むなかた」について



産業建設常任委員会（臼杵市土づくりセンターにて）



総務文教常任委員会（武雄市議場にて）

※常任委員会は市政の各分野における課題解決に向け調査を行い、議案等を審査します。

厚生常任委員会

■期日

令和5年10月16日～18日

■視察先

①長野県駒ヶ根市②岐阜県各務原市③岐阜県大垣市

■視察項目

- ①健康増進、介護予防の取り組みについて
- ②健康長寿のまちづくりのためのフレイル予防事業について
- ③子育て支援事業について、父親の子育て参加の取り組みについて



厚生常任委員会（大垣市議場にて）

新年度予算の編成作業について 各常任委員会の意見・要望を提出

12月11日に行われた全員協議会において、常任委員会ごとに取りまとめた新年度予算編成に対する意見・要望を、各委員長が報告を行いました。

市長からは、第二次十日町市総合計画後期基本計画に掲げる施策の実現と第2期十日町市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成を主軸とし、少子高齢化過疎化など難しい行政課題に対し予算編成を通じて鋭意取り組み、持続可能な行政運営のためには事務事業や受益者負担の見直しが不可欠なこと、とおかまち応援寄附金などの自主財源の確保や遊休資産の処分への取り組み、合併特例期間以降も地方債の適切な管理を進めていくなど、令和6年度予算編成における方針等が示されたのち、最後に各委員長からの意見・要望を踏まえて、「選ばれて住み継がれるまち」の実現のため、予算編成に当たるとの所信が表明されました。



12月11日全員協議会

「令和6年度予算編成」に対する 各常任委員会意見・要望

- | | |
|-------------|---------|
| 1 総務文教常任委員会 | 1～3ページ |
| 2 産業建設常任委員会 | 4～8ページ |
| 3 厚生常任委員会 | 9～11ページ |

新成会

新成会では、令和5年10月11日から10月13日の期間で行政視察を行いました。

一つ目は、千葉県安房郡鋸南町の「道の駅 保田小学校」です。平成25年に閉校となった保田小学校を、平成27年に「道の駅」としてオープンしました。コンセプトは「小学校をそのまま道の駅へ」です。体育館は地元地域の農産物を中心とした里山市場、校舎部分は飲食店や宿泊施設、温浴施設となつています。温浴施設部分は増築したようですが、宿泊室は3年1組等、私たちが説明を受けたのも理科室といったように、小学校に完全特化した施設でした。二つ目は、茨城県常陸大宮市で取り組んでいる「確かな学力育成プロジェクト」です。授業づくり、集団・学級づくり、家庭学習の充実の相乗効果で、学力の向上を図る取り組みをしています。NRTやCRTの実施で見える学力を測り、Q-Uで見えない学力を測定します。NINOで思考力・判断力・表現力を測定し、学級づくりから学力の向上を図る取り組みを行っています。

当市でも「居心地の良い学級づくり」に取り組んで



常陸大宮市議場にて



常陸大宮市での視察の様子

おり、方向性を同じくする先進地であると感じました。
* NRT・CRT・標準学力検査
* Q-U…楽しい学校生活を送るためのアンケート
* NINO…認知能力検査

政務活動費による活動の一部を紹介します。

※政務活動費を申請した会派は、議会だより79号をご覧ください。

日本共産党十日町市議団

私達は、長野県の本曾町と阿智村へ視察に行きました。

本曾町では、森林資源を活用しています。当初、木質バイオマス発電を計画していましたが、山が坊主になるほど多量の木材の需要があることを知り、再生可能エネルギーの木質バイオマス燃料を活用し、地域内経済が活性化する取り組みをすることにしたそうです。町役場の木質バイオマス燃料を使った冷暖房機器を視察しました。また、公共交通を「住民の足」「命の交通網」と位置付けています。車をつかえない方の実態を把握し、各地域内交通とバス路線を結びつけるシステムを導入。特別交付税を活用して、70歳以上の住民・公共交通の利用に支障がある方に、700円で自宅から目的地までどこへでも運行する「なままるタクシー」の事業も行っています。高齢化に伴い利用者が増加しているとのことでした。

阿智村の村づくりの理念は「地域課題をみんなで考える、住民が主体的に課題をやるうとしていく、その活動を行行政が積極的に応援している」です。そのため、公民館活動や自治会活動等



木質バイオマスを利用した木造建築の本曾町役場



阿智村コミュニティ館前の地元野菜販売所

に地域の課題を考える機会を設定しています。村づくり委員会もあり「自分たちの地域をどう住みやすくするか」熟慮を重ね実現しています。住民パワーが村づくりの基です。

議会だより表紙写真展

“高校生が見た とおかまち”



市民の皆さまへ議会活動を幅広くお知らせするため、定例会ごとの年4回全戸配布している、「議会だより」が今号で80号となります。

これを記念し、表紙写真の撮影を地元高校生に依頼することとなった45号から80号（うち33点が対象）までの議会だよりを一堂に展示し、「高校生が見た とおかまち」と題した展覧会を開催します。

四季折々の風景など、高校生の作品をぜひご覧ください。

- 日時 令和6年2月23日(金・祝)～25日(日)
午前10時～午後5時
- 場所 十日町情報館「多目的コーナー」

ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で
一般質問を放送しています！
一般質問をした当日、夕方7時から放送
していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで 本会議の様子を配信しています！



本会議の模様を生中継・録画中継
しています。ホームページからアク
セスしてください。スマートフォン、
タブレットでも！

十日町市議会

検索



市議会の詳しい情報は、
十日町市議会のホームページを
ご覧ください



表紙写真について

今号の表紙は十日町高校の作品です。

十日町高校写真部



十日町高校写真部は、3年生が引退して現在1、2年
生21名で活動しています。普段は校内や学校周辺で写
真を撮っていますが、時には遠征したり、いろんな大会
に参加したりしています。今年もたくさん写真を撮って、
コンテストでも入賞を目指したいと思います。

あとがき

紙面でもお知らせしていま
すが、2月の最後の連休にな
る23日から25日に情報館で今
まで高校生に撮ってもらった
議会だよりの表紙を一堂に展
示するイベントを企画してい
ます。これまでの感謝を伝え
るため、市内各高校の写真部
又は生徒会への感謝状贈呈式
も行われる予定です。イベン
ト中は議員も立ち会いますの
で、お越しの際はお気軽にお
声がけください。議会だより
の表紙を彩ってきた若者たち
の作品をご覧いただくととも
に、議員や地域の皆さまと直
接交流する良い機会になると
思います。ご期待ください。

(山家悠平)

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999